

< 第7節終了時点順位表 >

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	流通経済大学	4	0	3	16	7	+9	15
2	駒澤大学	4	1	2	11	7	+4	14
3	法政大学	4	3	0	12	9	+3	12
4	国士館大学	3	2	2	17	12	+5	11
5	筑波大学	3	2	2	15	11	+4	11
6	順天堂大学	3	2	2	10	8	+2	11
7	東京学芸大学	2	2	3	5	2	+3	10
8	早稲田大学	2	2	3	10	12	-2	9
9	中央大学	2	3	2	5	11	-6	8
10	明治大学	1	3	3	6	6	±0	6
11	東京農業大学	1	4	2	5	11	-6	5
12	専修大学	0	6	1	6	20	-14	1

得点ランキング

5ゴール 小島暢明(国士大)
柏好文(国士大)

4ゴール 武田英明(流経大)
三澤純一(筑波大)
渡邊一真(早大)

3ゴール 兵藤慎剛(早大)
他6名

アシストランキング

4アシスト 瀬田貴仁(東学大)

3アシスト 三澤純一(筑波大)
菊岡拓朗(法大)
平木良樹(流経大)
山本慎斗(早大)

2アシスト 巻佑樹(駒大)
他10名



[上]開始5分、流経大・平木にDFラインの裏に抜け出されて失点しまう



[上] セットプレーで相手の激しいディフェンスに倒される巻。終始密着マークを受け、本人も「戦えてなかった」と試合を振り返った

[下] 監督に「理想の形」と言われたゴールをアシストした島田



中大戦は4バックも?

試合後、秋田監督は「中大戦は4バックもありえる」というコメントを残した。その背景には中大のフォーメーションが3トップの可能性があるのである。現在の駒大は3バックを主軸としリーグ戦を戦っている。しかし、3トップの中大を相手に3バックのまま臨んでしまうと、数的不利の状況を作られてしまう。しかし、4バックならば中大の3人のFWに対し、駒大のDFは4人。数字上



有利になるという理由だ。今季こそ3バックが中心だが、本来は4バックが基本の駒大。流経大での敗戦から気持ちを切り替え、今後も勝ち点を積み上げるためにも、「4バック」というカタチから原点に立ち戻り、駒大のサッカーを再確認するのもいい機会かもしれない。



この日、最多のシュートを放った原。しかし、ゴールは決めることができず75分に途中交代でフィールドを去った

5月3日 14:10 古河市立古河サッカー場

駒大 1 (1-2) 3 流経大
(2位・14) (1位・15)

得点者(アシスト)

【流】5分:平木良樹3(糸数昌太2)
【流】32分:難波宏明2(平木良樹3)
【駒】33分:巻佑樹2(原一樹1)
【流】89分:難波宏明3(糸数昌太3)

KOMAZAWA	RYUTSUKUKEIZAI
GK 三栗寛士(4)	GK ³¹ 林 彰洋(1)
DF 阿部琢久哉(4)	DF 阿部 高(4)
DF 廣井友信(4)	DF 飯田真輝(3)
DF 塚本泰史(3)	DF 鎌田次郎(3)
MF 菊地光将(3)	DF 宮崎智彦(2)
MF 筑城和人(4)	MF ⁴¹ 西 弘則(2)
MF ³⁹ 山崎健太(1)	MF 糸数昌太(4)
MF ²⁴ 小林竜樹(3)	MF ²³ 武井沢也(3)
(60分 田谷高浩(3))	MF 平木良樹(2)
MF 島田祐輝(2)	FW 難波宏明(4)
(75分 竹内 優(4))	FW 船山祐二(4)
FW 原 一樹(4)	(46分 ²⁷ 武田秀明(3))
(75分 ²⁵ 高崎寛之(3))	(82分 ³⁰ 徐 鈞元(2))
FW 巻 佑樹(3)	
	S U B
S U B	GK 阿部伸行(4)
GK ²¹ 山内達夫(3)	DF 赤井秀行(3)
DF ³⁵ 伊藤 龍(1)	MF 鶴岡 学(4)
MF ³⁰ 鈴木寿毅(3)	MF ²⁹ 楠瀬幸仁(2)
MF 東平大佑(3)	FW 高林忠毅(3)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 中野雄二

警告(C)/退場(S)

【駒】25分:山崎健太(C)、67分:田谷高浩(C)
70分:巻佑樹(C)、89分:筑城和人(C)
【流】37分:難波宏明(C)、71分:林 彰洋(C)

[シフト]9:8[GK]9:10[CK]5:6[PK]0:0[直接FK]17:20
[間接FK]14:2[CS]13:0[主審]湯本 裕[観衆]約900人

上記データは全て左側の数字が駒澤